

研究主題

論理的に考え、表現することができる児童の育成

～問題発見・解決学習とICTの活用を通して～

【児童の実態】

自分の考えを表現する力が不足している

【算数科における課題】

自ら解決策を考え、説明する力が不足している。

研究仮説

仮説1 課題提示を工夫することで、解決すべき問題を自分のこととして考え、問題解決に進んで取り組む児童が育つであろう。

仮説2 ICTを活用することで、児童の興味・関心が高まり、さらに自分の考えを分かりやすく表現できる児童が増えるであろう。

- ① 児童が問題解決の見通しをもてる課題設定・提示の工夫を行う。
- ② 授業の導入、説明、まとめなどの場面でICTを用いる。

問題発見・解決学習

- ② 児童が自ら問題を発見し、解決したいと思える課題提示の工夫。
- ② ICTを活用しながら、児童が主体的に問題を解決していく授業づくり。

日常的に行う表現力の育成

- ① 友達の発表に反応を返し、発言を繋げる「つなぎ発言の促進」
- ② 「聴く」「伝える」の評価を通した、話す・聞く力の定着
- ③ 見開きで学習内容を振り返ることができる算数科ノートづくり。
- ④ 自主ノート作りの充実。
- ⑤ 新聞を利用した学習。

学習のきまり

規律を徹底する。
(机上整理、あいさつ、
時間厳守)

ICTの活用

パソコン、タブレット等を
積極的に使用する。

ドリルタイム

けやきタイム

算数科の
基礎・基本の徹底
反復を行う。

基礎・基本の定着